

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-259814

(43)Date of publication of application : 13.09.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60

(21)Application number : 2001-059905

(71)Applicant : TOPPAN PRINTING CO LTD

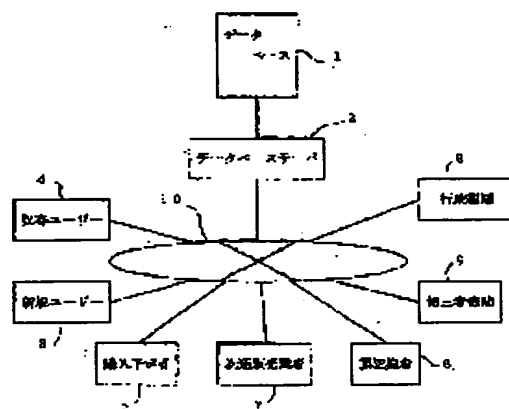
(22)Date of filing : 05.03.2001

(72)Inventor : SATO YASUHIRO

(54) DIAGNOSING AND EVALUATING METHOD FOR BARRIER-FREE DEGREE OF PRODUCT AND ITS INFORMATION PROVIDING SYSTEM**(57)Abstract:**

PROBLEM TO BE SOLVED: To diagnose and evaluate the barrier-free degree of any item of products according to the use situation of the products, environment, service, etc., on the user side, and also its evaluation and needs collection, provide different kinds of information concerning the barrier-free degree of the item to the user side, and complement and support the design, development, and information provision on the maker side and the information acquisition, selection, purchase, etc., on the user side.

SOLUTION: On request by an arbitrary monitor or a user, the products information and question information are read through a network from a database accommodating the products information and the question information for obtaining the barrier-free use information concerning the product and also the use evaluation information, and the answer information for the question information of the monitor or user is returned to the database through the network and registered, and thereby the barrier-free degree of the product based upon the answer information is diagnosed and evaluated automatically, and the results from diagnosis and evaluation are registered on the database.

**LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision]

BEST AVAILABLE COPY

of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-259814
(P2002-259814A)

(43)公開日 平成14年9月13日(2002.9.13)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	キーワード(参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6 1 5 2	G 0 6 F 17/60	3 2 6 1 5 2

審査請求 未請求 請求項の数11 O L (全 17 頁)

(21)出願番号 特願2001-59905(P2001-59905)

(22)出願日 平成13年3月5日(2001.3.5)

(71)出願人 000003193

凸版印刷株式会社

東京都台東区台東1丁目5番1号

(72)発明者 佐藤 安弘

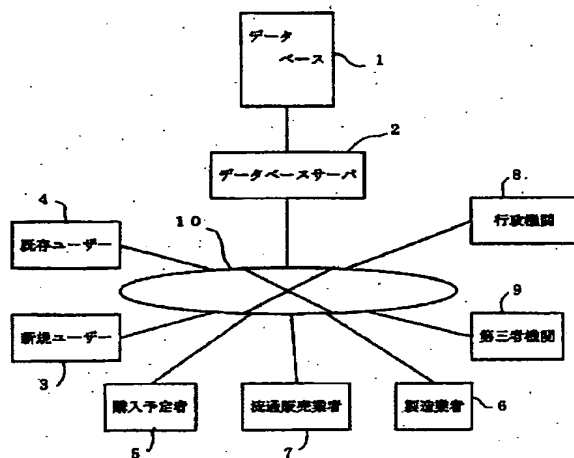
東京都台東区台東1丁目5番1号 凸版印刷株式会社内

(54)【発明の名称】 製品バリアフリー度の診断・評価方法とその情報提供システム

(57)【要約】

【課題】ユーザー側の製品、環境、サービス等の使用状況や、その評価やニーズ収集により製品のバリアフリー度を診断、評価できるようにするとともに、その製品のバリアフリー度に関する各種情報をユーザー側に提供し、メーカー側の設計、開発、情報提供とユーザー側の情報入手、選択、購入等を補完、支援する。

【解決手段】製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度を診断、評価して、データベース上に診断、評価結果が登録されるようにした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録されることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価方法。

【請求項2】製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価方法であって、

a) 前記モニターやユーザーの指示により、前記データベースから設問情報を読み出す設問読み出し工程と、
b) 前記モニターやユーザーにより、読み出された設問情報に回答し回答情報を作成する回答情報作成工程と、
c) 前記モニターやユーザーにより、作成した回答情報をデータベースに返信する回答返信工程と、
d) 前記モニターやユーザーにより返信された回答情報をデータベースに登録する回答情報登録工程と、
e) 前記データベース上に登録された回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価工程と、
f) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録する診断評価結果登録工程と、からなることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価方法。

【請求項3】前記製品情報は、製造者、販売者、流通関連事業者から、ネットワークを介してデータベースに登録される請求項1又は請求項2記載の製品バリアフリー度の診断・評価方法。

【請求項4】前記製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報は、第三者機関、企業、調査会社等から、ネットワークを介してデータベースに登録される請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の製品バリアフリー度の診断・評価方法。

【請求項5】前記データベースは、データベースサーバ、又はデータベースサーバとサービスサイトとを介して、前記モニターやユーザー、製造者、販売者、流通関

連事業者、第三者機関、企業、調査会社等と、ネットワークにて接続している請求項1乃至請求項4のいずれか1項記載の製品バリアフリー度の診断・評価方法。

【請求項6】ネットワークを介して登録される製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムであって、利用者に前記データベースから前記製品情報と設問情報及び診断、評価情報とを読み出し提供するデータベースサーバが、

a) 前記モニターやユーザーの端末機からネットワークを介して送信される設問情報の読み出し要求を受信する受信手段と、

b) 前記モニターやユーザーからの読み出し要求により、データベースから設問情報を読み出す設問情報読み出し手段と、

c) 前記読み出された設問情報により、前記モニターやユーザーに、前記設問情報に対して記名回答と無記名回答のいずれかの選択を促し、記名回答の選択であれば、そのモニターやユーザーに対して固有の識別情報を作成付与する識別情報作成手段と、

d) 前記モニターやユーザーにより前記記名回答若しくは無記名回答されたそれぞれ回答情報と、記名回答された回答情報に対応するモニターやユーザーに付与された固有の識別情報とをデータベースに登録登録した後、前記登録した回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価手段と、

e) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録した後、登録した診断評価結果を、前記モニターやユーザーまたは要求に応じて製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等の端末機に送信する診断評価結果送信手段と、を備え、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果を自動的に登録し、利用者に前記製品情報、設問情報、回答情報、診断、評価結果情報を提供可能とすることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システム。

【請求項7】ネットワークを介して登録される製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介して

10

20

30

40

50

データベースに返信し登録することにより、データベース上にて自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラムであって、利用者に前記データベースから前記製品情報と設問情報及び診断、評価情報とを読み出し提供するデータベースサーバを、

a) 前記モニターやユーザーの端末機からネットワークを介して送信される設問情報の読み出し要求を受信する受信手段と、

b) 前記モニターやユーザーからの読み出し要求により、データベースから設問情報を読み出す設問情報読み出し手段と、

c) 前記読み出された設問情報により、前記モニターやユーザーに、前記設問情報に対して記名回答と無記名回答のいずれかの選択を促し、記名回答の選択であれば、そのモニターやユーザーに対して固有の識別情報を作成付与する識別情報作成手段と、

d) 前記モニターやユーザーにより前記記名回答若しくは無記名回答されたそれぞれ回答情報と、記名回答された回答情報に対応するモニターやユーザーに付与された固有の識別情報とをデータベースに記録登録した後、前記登録された回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価手段と、

e) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録した後、登録した診断評価結果を、前記モニターやユーザーまたは要求に応じて製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等の端末機に送信する診断評価結果送信手段として、機能させ、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果を自動的に登録し、利用者に前記製品情報、設問情報、回答情報、診断、評価結果情報を提供可能とすることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラム。

【請求項8】請求項7に記載の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラムをコンピュータ読み取り可能に記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項9】前記製品情報は、製造者、販売者、流通関連事業者から、ネットワークを介してデータベースに登録される請求項6乃至請求項8のいずれか1項記載の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システム。

【請求項10】前記製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報は、第三者機関、企業、調査会社等から、ネットワークを介してデータベースに登録される請求項6乃至請求項9のいずれか1項記載の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システム。

【請求項11】前記データベースは、データベースサーバ

バ、又はデータベースサーバとデータサービスサイトとを介して、前記モニターやユーザー、製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等と、ネットワークにて接続している請求項6乃至請求項10のいずれか1項記載の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、ネットワーク上でユーザー側の製品、環境、サービス等の使用状況や、そのバリアフリー性に関する評価やニーズ等の収集を行い、製品のバリアフリー度を診断、評価し、製品のバリアフリー度に関する各種情報を、ネットワーク上にて、ユーザー、製造者、販売者等の利用者に提供する製品バリアフリー度の診断・評価方法及びその情報提供システムに関する。

【0002】

【従来の技術】現在、インターネットなどネットワーク上には、様々なサービスを提供するサービスサイトが存在しているが、現代の産業社会では、一般の健康な大人や若者を基準に製品・環境・サービス等が設計され、製造、供給されている。しかし、超高齢化社会の進展と共に、多数の高齢者をはじめ、障害者や、けが人、妊産婦など、身体的機能の低下状態にある人達や、その周辺の人達によって、現代社会での製品、環境、サービス等における不便さが指摘されており、改善の必要性が叫ばれるようになってきた。

【0003】そして、このような人達によって使用される際に発生する製品、環境、サービス等における障害要素を取り除いた「バリアフリー製品」や、共に生活することを前提とした社会づくりという「共生の思想」が必要との考えから、障害のある人達と共に快適に利用できるものを普及させようとする考えが生まれ、全ての人々が快適に利用できるような製品、環境、サービス等の開発を行う「ユニバーサルデザイン」（以下UDという）の概念へと発展し、ユニバーサルデザイン商品が市場に登場しはじめてきた。

【0004】しかし、名前だけや、中途半端なUD概念の製品も多く、行政側の使用評価もまだ十分なものではなく、メーカー、流通業者、ユーザーがUDを志向していても、概念に沿った製品開発、設計等や、情報提供等を受けることができなく、現実には社会的な発展上での様々なバリアが存在している。

【0005】本発明の課題は、このような状況下において、ユーザー側の製品、環境、サービス等の使用状況や、その評価やニーズ収集により、製品のバリアフリー度を診断し、評価できるようにするとともに、その製品のバリアフリー度に関する各種情報をユーザー側に十分に提供できるようにして、メーカー側の設計、開発、情報提供と、ユーザー側の情報入手、選択、購入等を補

10

20

30

40

50

完、支援していくことにある。

【0006】

【課題を解決するための手段】本発明の請求項1に係る発明は、製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録されることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価方法である。

【0007】本発明の請求項2に係る発明は、製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価方法であって、

a) 前記モニターやユーザーの指示により、前記データベースから設問情報を読み出す設問読み出し工程と、
b) 前記モニターやユーザーにより、読み出された設問情報に回答し回答情報を作成する回答情報作成工程と、
c) 前記モニターやユーザーにより、作成した回答情報をデータベースに返信する回答返信工程と、
d) 前記モニターやユーザーにより返信された回答情報をデータベースに登録する回答情報登録工程と、
e) 前記データベース上に登録された回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価工程と、
f) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録する診断評価結果登録工程とからなることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価方法である。

【0008】本発明の請求項3に係る発明は、上記請求項1又は請求項2に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法において、前記製品情報は、製造者、販売者、流通関連事業者から、ネットワークを介してデータベースに登録される製品バリアフリー度の診断・評価方法である。

【0009】本発明の請求項4に係る発明は、上記請求項1乃至請求項3のいずれか1項に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法において、前記製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設

問情報は、第三者機関、企業、調査会社等から、ネットワークを介してデータベースに登録される製品バリアフリー度の診断・評価方法である。

【0010】本発明の請求項5に係る発明は、上記請求項1乃至請求項4のいずれか1項に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法において、前記データベースは、データベースサーバ、又はデータベースサーバとサービスサイトとを介して、前記モニターやユーザー、製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等と、ネットワークにて接続している製品バリアフリー度の診断・評価方法である。

【0011】本発明の請求項6に係る発明は、ネットワークを介して登録される製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムであって、利用者に前記データベースから前記製品情報と設問情報及び診断、評価情報とを読み出し提供するデータベースサーバが、

a) 前記モニターやユーザーの端末機からネットワークを介して送信される設問情報の読み出し要求を受信する受信手段と、
b) 前記モニターやユーザーからの読み出し要求により、データベースから設問情報を読み出す設問情報読み出し手段と、
c) 前記読み出された設問情報により、前記モニターやユーザーに、前記設問情報に対して記名回答と無記名回答のいずれかの選択を促し、記名回答の選択であれば、そのモニターやユーザーに対して固有の識別情報を作成付与する識別情報作成手段と、
d) 前記モニターやユーザーにより前記記名回答若しくは無記名回答されたそれぞれ回答情報と、記名回答された回答情報に対応するモニターやユーザーに付与された固有の識別情報とをデータベースに登録した後、前記登録された回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価手段と、

e) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録した後、登録した診断評価結果を、前記モニターやユーザーまたは要求に応じて製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等の端末機に送信する診断評価結果送信手段と、を備え、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果を自動的に登録し、利用者に前記製品情報、設問情報、回答情報、診断、評価結果情報を提供可能とすることを特

徴とする製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムである。

【0012】本発明の請求項7に係る発明は、ネットワークを介して登録される製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上に自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラムであって、利用者に前記データベースから前記製品情報と設問情報及び診断、評価情報とを読み出し提供するデータベースサーバを、

a) 前記モニターやユーザーの端末機からネットワークを介して送信される設問情報の読み出し要求を受信する受信手段と、

b) 前記モニターやユーザーからの読み出し要求により、データベースから設問情報を読み出す設問情報読み出し手段と、

c) 前記読み出された設問情報により、前記モニターやユーザーに、前記設問情報に対して記名回答と無記名回答のいずれかの選択を促し、記名回答の選択であれば、そのモニターやユーザーに対して固有の識別情報を作成付与する識別情報作成手段と、

d) 前記モニターやユーザーにより前記記名回答若しくは無記名回答されたそれぞれ回答情報と、記名回答された回答情報に対応するモニターやユーザーに付与された固有の識別情報とをデータベースに記録登録した後、前記登録された回答情報に基づいて製品のバリアフリー度を診断、評価する診断、評価手段と、

e) 前記データベース上にそのバリアフリー度の診断、評価結果を登録した後、登録した診断評価結果を、前記モニターやユーザーまたは要求に応じて製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等の端末機に送信する診断評価結果送信手段として、機能させ、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果を自動的に登録し、利用者に前記製品情報、設問情報、回答情報、診断、評価結果情報を提供可能とすることを特徴とする製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラムである。

【0013】本発明の請求項8に係る発明は、上記請求項7に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムに用いるデータベースサーバプログラムを、コンピュータ読み取り可能に記録したことを特徴とする記録媒体である。

【0014】本発明の請求項9に係る発明は、上記請求項6乃至請求項8のいずれか1項に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムにおいて、前記製品情報は、製造者、販売者、流通関連事業者から、ネットワークを介してデータベースに登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムである。

【0015】本発明の請求項10に係る発明は、上記請求項6乃至請求項9のいずれか1項に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムにおいて、前記製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報は、第三者機関、企業、調査会社等から、ネットワークを介してデータベースに登録される製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムである。

【0016】本発明の請求項11に係る発明は、上記請求項6乃至請求項10のいずれか1項に係る発明の製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムにおいて、前記データベースは、データベースサーバ、又はデータベースサーバとデータサービスサイトとを介して、前記モニターやユーザー、製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等と、ネットワークにて接続している製品バリアフリー度の診断・評価情報提供システムである。

【0017】

【発明の実施の形態】本発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法の一実施の形態を、図1の概要図に基づいて以下に詳細に説明する。

【0018】図1は、本発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法に用いるネットワークシステムであり、各種製品情報を格納登録するデータベース1を備え、そのデータベース1に対して、製品情報データの出し入れやデータ処理をするデータベースサーバ2とを備え、市場に流通している製品を購入したり利用したりする新規ユーザー3、既存ユーザー4、購買予定ユーザー5、モニターなど一般の購買利用者（以下単にユーザーAという）の端末機（パソコン、携帯電話機など）と、その製品を製造する製造事業者6や、その製品を販売したり手配したりする流通事業者7や、製品のバリアフリー度を客観評価する行政機関8（以下単に製品提供者Bという）の端末機（パソコン、携帯電話機など）と、必要に応じて第三者機関9の端末機（パソコン、携帯電話機など）とが、互いにインターネットなどネットワーク10を介して接続されている。

【0019】各種分野の各製品のバリアフリー性に関するユーザー側の使用評価を望む製品提供者Bは、該製品に関する情報や、その製品のバリアフリー性に関する情報を、データとしてデータベース1に登録することができる。

【0020】上記ユーザーA以外の製品提供者B、又はユーザーAや製品提供者B以外の企業、調査会社等の第

三者機関9（必要に応じて製品提供者B）は、設問作成者Cとして製品のバリアフリー性に関するユーザーA側の使用評価を情報として得るための設問情報を作成し、その設問情報を、データベース1に直接、登録してファイリングするか、またはネットワーク10を介してデータベース1に登録してファイリングする。

【0021】データベース1への登録は、そのデータベース1やデータベースサーバ2を管理しているデータ管理者（データベースのサーバ業者やサービスサイト業者）によって製品提供者Bや設問作成者Cに予め付与されているデータベース1への登録を認証許可するための固有の識別情報（特定会員コード、登録用のIDコード、パスワード、暗証コード、ドメイン名など）を用いて、製品提供者Bや設問作成者Cが端末機からデータベースサーバ2を呼び出し、画面上に出力表示して情報入力ページを開き、製品に関する情報や、その製品のバリアフリー性に関する情報、あるいは設問情報などの所定情報を入力して登録するものである。

【0022】図2は、ユーザーAがデータベース1に登録されている設問情報を読み出し、設問に回答するプロセスを順に説明するフローチャート図である。

【0023】ユーザーAは、端末機（パソコン）よりネットワーク10を介して、データベース固有の識別記号（例えばドメイン名やIDコードなど）を用いて、製品バリアフリー度の診断・評価に関する設問情報が登録されているデータベースサーバ2に接続すると、図2に示すように、データベースサーバ2のデータベース1から、登録されている製品バリアフリー度の診断・評価に関する設問情報の掲載されたホームページ（データファイル）が送信される。

【0024】ユーザーAは、その設問情報の掲載されたホームページを受信してファイルページを開くことにより、端末機の出力画面上にそのファイルページが出力表示され、そのファイルページ内に掲載されている製品バリアフリー度の診断・評価に関する「設問」や「アンケート」の種類を示す各種設問メニューが、バリアフリーを要求される設問対象製品の種別や名称などとともに選択肢として出力表示される。また、設問の対象となるようなその他の各種製品種別や各種製品名なども選択肢として出力表示してもよい。

【0025】例えば、上記出力画面上に出力表示されたメニューのタイトル（題名）は「製品のバリアフリー度の診断・評価に関するアンケート（設問）」であり、各種設問対象製品としては、「家電製品」、「衣料品」、「パッケージ類」、「家庭調理用品」、「日用雑貨品」、「文具・事務用品類」、「住宅・住宅設備類」、「情報・通信機器類」、「印刷物類」、「医療器具類」、「介護用品類」、「交通輸送機械類」などがあり、また、その他の日常生活全般に関わる製品や商品がバリアフリー度の設問対象製品に該当する。

【0026】次に、ユーザーAは、画面上に表示された「設問」に対して回答した後、その回答情報をネットワーク10を介してデータベースサーバ2に送信する。

【0027】上記ユーザーAの端末機画面上に出力表示される上記設問は、例えば、多岐選択回答方式、多岐択一回答方式、○×回答方式、チェック方式、文字記号入力回答方式などによる設問に対する回答欄（若しくはアンケート欄）が設けられ、端末機にて回答入力のための空欄なども設けられている。

10 【0028】ユーザーAの端末機からデータベースサーバ2に送信されたユーザーAによる上記回答情報は、データベースサーバ2を介してデータベース1に登録され、データ処理されてデータベース化される。

【0029】上記ユーザーAの設問回答は、記名若しくは無記名にて回答した後に、データベースサーバ2に送信して登録することができるが、記名回答とする場合には、次のようにして行うことができる。

20 【0030】データベース1から送信される設問情報のファイルページには、ユーザーAの個人情報を登録するための入力ページを設定し、ユーザーAには設問の回答をする前に、ユーザーAの個人情報（氏名、住所、年齢、性別、職業など）を登録する機会を与える。

30 【0031】この個人情報登録後に、データベースサーバ2からユーザーA固有の識別情報（会員コード、IDコード、パスワード、暗証コード、ドメイン名など）をユーザーAの端末機に出力表示して付与し、ユーザーAは、付与されたその識別情報を、設問回答前または後に入力して登録認証を得ることにより、その設問回答をデータベースサーバ2に送信登録できるようにすることができる。

【0032】データベース1に登録されてデータベース化された上記回答情報は、他のユーザーAからの回答情報とともに、データベース1若しくはデータベースサーバ2の演算処理制御部に送信され、それら回答情報と製品バリアフリー度診断・評価プログラムに基づいてデータ処理されて、該当製品（または製品群）のバリアフリー度に関する診断、評価が算出され、その算出された診断、評価結果をデータベース1に登録してデータベース化する。

40 【0033】データベース化された上記回答情報や、その回答情報に基づいて診断、評価された製品バリアフリー度診断・評価結果は、ネットワーク（インターネットなど）を介してデータベースサーバ2に接続した上記ユーザーAをはじめとして製品提供者Bや第三者機関Cの端末機（情報処理端末機）により、今までに設問回答を送信してきた複数のユーザーAの設問回答内容の情報閲覧ページや、その設問回答に基づく製品バリアフリー度診断・評価結果に関する情報閲覧ページや、最新の製品バリアフリー度診断・評価結果の情報閲覧ページを開いて、それら情報を閲覧することができる。

【0034】このように、ユーザーAをはじめとして製品提供者Bや第三者機関Cの情報処理端末機（以下、端末という）は、ネットワーク2を介して、データサーバ2と接続してサービスを受けることができ、また、必要に応じて、上記データサーバ2に複数の各種サービスサイトのデータサーバをネットワークを介して相互に接続して、これらのサービスサイトのデータサーバを介して、上記情報サービスを提供できるようにしてもよい。

【0035】ここで、ネットワークとは、例えば、インターネット、ローカルエリアネットワーク、ワイドエリアネットワークや専用回線などが挙げられ、通信方法は有線又は無線のいずれであっても良い。また、ユーザーAをはじめとして製品提供者Bや第三者機関Cの各情報処理端末機3、4、5、6、7、8、9や、データベースサーバの典型的な構成は、所定のプログラムやデータを格納する記録装置（ROM、RAM、ハードディスクなど）とCPU（セントラル・プロセッシング・ユニット）などによって構成されており、情報の入力と出力が行える情報処理装置であって、情報処理端末機（端末）としては、例えばコンピュータ（パソコン含む）や携帯情報処理端末（PDA）や携帯電話機などが挙げられる。

【0036】例えば、図1に示すデータベースサーバ2に、複数の各種サービスサイト3のデータサーバを接続した場合には、この複数のそれぞれのサービスサイト3と、データベースサーバ2とは相互に接続でき、各々のサービスサイト3はデータベースサーバ2に対して接続でき、また、データベースサーバ2から、各々のサービスサイト3に対しても接続することができる。なお、図1に示すデータベースサーバ2は1つのサーバが示されているが、複数のデータベースサーバ2から構成されていてもよい。

【0037】図1に示すデータベースサーバ2は、ユーザーAをはじめとして製品提供者Bや第三者機関Cの各情報処理端末機3、4、5、6、7、8、9（各種サービスサイトを含む）へ、様々な情報を送信又は受信するために利用される送信手段や受信手段が備えられている。

【0038】図3は、データベースサーバ2の構造の一例を説明するブロック図であり、中央演算処理制御部20（CPU）と、記憶手段21（データ演算処理制御用プログラムを記憶）と、データベース1に対して所定の情報を書き込む書き込み手段22、データベース1から所定の情報を読み出す読み出し手段23と、ネットワーク10を介して各端末機から情報を受信する受信手段26と、データベースサーバ2からネットワーク10を介して各端末機に情報を送信する送信手段27を備えている。

【0039】また、データベースサーバ2は、各ユーザーAのうち新規ユーザーの情報処理端末機3から送信さ

れ登録された個人情報に基づいて、サーバ2への接続用、登録用等のユーザー固有の識別情報（会員コード、IDコードなど）を作成するための識別情報作成手段24を備え、前記ユーザーの個人情報と、作成したユーザー固有の識別情報は、互いに対応づけて書き込み手段22によりデータベース1に書き込み記録登録される。

【0040】また、データベースサーバ2は、各ユーザーAの情報処理端末機3、4から送信されてくる設問回答情報を所定の演算処理プログラムに基づいてデータ処理して診断、評価結果をデータ出力する診断、評価手段25を備え、その診断、評価結果は、書き込み手段22によりデータベース1に書き込み記録登録される。

【0041】また、ユーザーAは、端末機3、4から直接にサーバ2に接続して、あるいはサービスサイト3を経て、ユーザーの個人情報を新規の情報としてデータベース1に記録登録したり、このサーバ2のデータベース1に記録されている製品バリエーションに関する情報、設問情報、アンケート情報などサービス情報を読み出したり、あるいはそのユーザー本人の登録されている個人情報を読み出したり、個人情報を更新したり、登録抹消したりできるようになっている。

【0042】データベースサーバ2から送信提示されるユーザーに固有の識別情報は、サーバ2を利用する際に必要とする情報であり、各々のユーザー毎に異なって付与される情報であり、例えば、ユーザーのID、パスワードや識別番号などが挙げられる。

【0043】また、ユーザーAとしてはサービスを必要としているものであれば良く、例えば、個人、商店、企業、各種のサービス業者、公共施設など全般的な消費者や利用者である。また、データベースサーバ2と接続するサービスサイトとしては、サービスを提供するものであれば良く、例えば、物販イーコマースサイト、コンテンツ販売イーコマースサイト、インターネットサービスプロバイダーなどのネットワークで、サービスを提供するサービスサイトがある。更には、実際のサービスに付随して様々な情報を提供する保険会社（例えば、銀行、クレジットカード、生命保険、損害保険などが挙げられる）、電気、ガス、水道などの公共サービス、電話会社（例えば、携帯電話、固定電話などが挙げられる）などのサービスサイトが挙げられる。

【0044】以下、本発明の製品バリエーション度の診断・評価方法とその情報提供システムについて具体的に説明する。

【0045】〔製品設計・製造での製品バリエーション（障害の排除）を配慮すべき要素〕次に、本発明の製品バリエーション度の診断・評価方法とその情報提供システムにおける製品バリエーション度診断・評価のための製品設計・製造でのバリエーション（障害の排除）を配慮すべき要素について説明する。

【0046】図4は、例えば、家電製品・時計類の設計

10

20

30

40

50

・製造におけるバリアフリー配慮点における要素の一例であり、障害を排除するための配慮すべき要素としては、製品の「ガイド」要素、対製品への「接近」要素、製品各部位の「表示」要素、製品の「操作・取扱い」要素、製品の「保守管理」要素などがある。

【0047】図4に示すように、「ガイド」要素としては、その製品の「所在」や「操作取扱い方法」を障害者が健常者と同様に障害なく明確に把握、理解できるか否か、また、そのような案内手段を備えた製品であるか否かである。

【0048】また、「接近」要素としては、その製品に対して特別な機器、補助具等が無くても安全に容易に接近できて使い易いか否か、また、接近して使用する際に多様な対応が可能な仕様を備えているか否かである。

【0049】また、「表示」要素としては、表示方法として、例えば、複数の表示方式（例えば、色分け表示、図形表示、凸状表示、凹状表示など）が可能であるか否か、または、それら表示方式の変換が可能か否かであり、表示形式として、表示が分かり易いか否か、または、表示の分かり易さの調整が可能か否かである。

【0050】また、「操作・取扱い」要素としては、製品を持ち易い（小型、軽量など）か否か、また、楽な操作姿勢、軽い操作で利用できるか否か、また、複雑な操作性を排除した簡易な操作性を備えているか否かである。

【0051】〔製品バリアフリー度を診断・評価するための設問について〕次に、製品バリアフリー度を診断・評価するための設問について以下に詳細に説明すれば、図5は、製品バリアフリー度を診断・評価するための設問の一例であり、例えば、家電製品・時計類製品に関するバリアフリー度診断・評価用のチェック項目及び設問であり、ユーザー（3、4）側の端末機にてネットワーク10を介してデータベースサーバ2と接続することにより、そのユーザー側の端末機の画面上に、チェック項目及び設問ページ画面として出力表示されるものである。

【0052】この設問は、予め設問作成者によって設定作成されて、データベース1に登録されていて、ユーザーAの要求により、端末機3、4の画面に出力表示される。

【0053】図5に示すように、チェック項目及び設問ページ画面に表示される設問には、「（1）家電製品・時計類：」に関して、（イ）～（リ）～・・・の複数の設問項目が設定され、それぞれ各設問項目に対応した「効果：」の程度を表現する多岐の選択肢として、「大」、「やや大」、「中」、「やや小」、「小」が設定され、その交点に、空白の○欄、□欄などのチェック欄が設定されている。

【0054】ユーザーAは、端末機の画面上に出力表示された図5に示す設問に対して、該当する空白の○欄、

□欄などのチェック欄を、キーボード、マウス等にてクリックして、黒、青、その他の適宜色に着色して塗りつぶしたり、そのチェック欄にチェックマークを記入するなどして回答入力指示する。

【0055】そして、（イ）～（リ）～・・・の複数の設問項目の回答入力指示を終了した後は、確定（エンター）指示することにより、そのチェック指示した回答情報は、ユーザー端末機からネットワークを介して接続したデータベースサーバ2（あるいはデータベースサーバ2と接続（提携）する所定サービスサイトを介してデータベースサーバ2）に送信されて、登録許可が得られれば、即ち、例えば回答した当該ユーザーAが予め登録されているユーザー固有の識別情報を持ってベースサーバ2や所定サービスサイトに接続して設問情報を要求し、読み出したユーザーであれば、データベース1に回答情報として登録される。

【0056】図6は、衣料品類の設計・製造における製品バリアフリー度を診断・評価するためのユーザー側の端末機の画面上にページ画面として出力表示されるチェック項目や設問の一例であり、例えば、（2）衣料品類の設計・製造における設問として、（イ）～（リ）～・・・の複数のチェック項目及び設問が設定され、それぞれ各設問項目に対応した「効果：」の程度を表現する多岐の選択肢として、「大」、「やや大」、「中」、「やや小」、「小」が設定され、その交点に空白の○欄、□欄などのチェック欄が設定されている。

【0057】図7は、パッケージ類の設計・製造における製品バリアフリー度を診断・評価するためのユーザー側の端末機の画面上にページ画面として出力表示されるチェック項目や設問の一例であり、例えば、（3）パッケージ類の設計・製造における（イ）～（リ）～・・・の複数のチェック項目及び設問が設定され、それぞれ各設問項目に対応した「効果：」の程度を表現する多岐の選択肢として、「大」、「やや大」、「中」、「やや小」、「小」が設定され、その交点に空白の○欄、□欄などのチェック欄が設定されている。

【0058】また、チェック項目設問には、その他に、図8に示すように、例えば、（4）家庭調理用・日用品類、（5）文具・事務用品類、（6）住宅・住宅設備類、（情報・通信機器類、（8）印刷物類、・・・その他、多数の製品（商品）分野におけるバリアフリー配慮点を取り出し、ユーザー側の端末機のページ画面に表示されるチェック項目、設問としていくものである。

【0059】上記のような各製品（商品）別のチェック項目、設問に対して回答したユーザー側の回答情報は、順次、ネットワーク10及びデータベースサーバ2を介してデータベース1に送信され、登録される。

【0060】その後、その回答情報における製品バリアフリー配慮点でのユーザー側の使用評価を配慮した総合評価や詳細評価が、データベースサーバ2の評価演算

10

20

30

40

50

プログラムソフトに基づいて、そのユーザー側からデータベース1に送信登録された回答情報を集計、解析することにより生成され、データベース1に記録される。

【0061】そして、生成された総合評価や詳細評価は、既存ユーザー3、新規ユーザー4をはじめ、購入予定者5、製造業者6（メーカー）、流通・販売業者7、行政機関8、その他の第三者機関9が、その端末機にて、ネットワーク10を介してデータベースサーバ2に接続して、データベース1から読み出して、閲覧することができる。

【0062】図9は、ネットワーク10を介して端末機に読み出し出力された総合評価を表示する端末機のページ画面の一例であり、例えば製造業者向けの表示例として、

(1) 総合評価

○総合評価シリアルナンバー（No. (JAN) : ○○○○
○○○○○○○○○○○）

○メーカー名：○○○社

○製品名：○○○、製品概要：……………

○バリアフリー使用評価：得点○○点 順位○○位 20
（基準○○点 平均○○点 最高○○○点 最低○○点）

○バリアフリー使用評価（総評）：……………
……………
……………

・良い点

・悪い点

○バリアフリーで改善・改良が必要な点：……………
……………
……………

○同分野での他社類似製品：

A：○○○○○○○○○○○

B：○○○○○○○

C：○○○

D：○○○○○

E：○○○○○

などが、総合評価情報として製品名毎に出力表示される。

【0063】また、総合評価に関する上記表示以外に、バリアフリー総合評価の要素別の偏位を示す円座標系のグラフ表示や、製品評価でのポジショニングを示すX-Y座標系のグラフ表示を、それぞれページ画面上に表示することができる。

【0064】また、端末機の画面上の次のページ画面としては、例えば製造業者向けに、図10に示すように、

(2) 詳細評価①が総合評価の詳細情報として、製品名毎に円座標系のグラフとして出力表示され、例えば、

1. 識別・判別（知覚特性）、2. 理解・判断（認知特性）、3. 操作性（体型・動作の特性）、4. 安全性（使用での安全性）、5. 汎用性（入手・使用での汎用

性）、6. 楽しさ（使用の楽しさ）などが出力表示される。

【0065】また、図11に示すように、例えば、次のページ画面上には、(3) 詳細評価②が総合評価の詳細情報として、製品名毎に文章として出力表示され、例えば、1. 識別・判別、2. 理解・判断、3. 操作性、4. 安全性、5. 汎用性、6. 楽しさなどについて、簡潔な文章として表現されて出力表示される。

【0066】また、図12に示すように、例えば、次のページ画面上には、(4) 詳細評価③（個別詳細評価）が総合評価の詳細情報として、製品名毎に、円座標系のグラフ表示と文章表示とにより出力表示され、例えば 1. 識別・判別（知覚特性）、2. 理解・判断（認知特性）などが出力表示される。

【0067】また、図13に示すように、例えば、次のページ画面上には、(5) 詳細評価④（バリアフリーの配慮点）が総合評価の詳細情報として、製品分野毎に、文章表示とにより出力表示され、例えば、1. 識別・判別、2. 理解・判断、3. 操作性、4. 安全性、5. 汎用性、6. 楽しさなどが出力表示される。

【0068】また、図14に示すように、例えば、次のページ画面上には、バリアフリー商品（製品）の選択のための設問及びチェック項目とユーザーの希望記入欄が出力表示され、例えば、製品（商品）分野として、例えば、(1) 家電製品・時計類において、

・希望の商品群：

・バリアフリー：

・希望の特徴：

など希望（要望）事項を、ユーザー側が文字、文章として記入できるようになっている。

【0069】また、そのページ画面上には、＜設問＞として、①～⑥……の複数の設問項目が設定され、それぞれ設問項目に対応した「必要性：」の程度を表現する多岐の選択肢として、「大」、「やや大」、「中」、「やや小」、「小」が設定され、その交点に空白の○欄、□欄などのチェック欄が設定されている。

【0070】ユーザーA側は、端末機の画面上に出力表示された図14に示す設問に対し、該当する空白の○欄、□欄などのチェック欄を、キーボード、マウス等にてクリックして、黒、青、その他の適宜色に着色して塗りつぶしたり、そのチェック欄にチェックマークを記入するなどして回答入力指示する。

【0071】また、図15に示すように、例えば、次のページ画面上には、又は上記ページ画面の他の例としては、バリアフリー商品（製品）の選択のための設問及びチェック項目と、ユーザー希望記入に対応する商品提示が出力表示され、例えば、製品（商品）分野として、例えば、(1) 家電製品・時計類において、

・希望の商品群：

・バリアフリー：

・希望の特徴：

など希望（要望）事項を、ユーザー側が文字、文章として記入できるようになっている。

【0072】また、そのページ画面上には、上記ユーザー希望記入に対応する商品提示がなされ、＜推薦・推奨の商品類＞として、例えば、①～②の商品が、製造・販売業者名、商品名、希望小売価格などを示して表示される。

【0073】

【発明の効果】以上のように、本発明は、製品情報と製品に関するバリアフリー使用情報や使用評価情報を得るための設問情報とを格納するデータベースから、任意モニターやユーザーの要求によりネットワークを介して製品情報と設問情報を読み出し、該モニターやユーザーの設問情報に対する回答情報をネットワークを介してデータベースに返信し登録することにより、データベース上にて自動的にその回答情報に基づく製品のバリアフリー度が診断、評価されて、データベース上に製品バリアフリー度の診断、評価結果が登録されるので、モニターやユーザー、製造業者、販売業者、流通関連事業者、第三者機関、企業、調査会社等は、端末機にてデータベースサーバ又はデータベースサーバとサービスサイトとを介してネットワークにて前記データベースに接続することにより、製品バリアフリーに関するモニターやユーザーからの回答情報や、製品バリアフリー度の診断、評価結果を即座に閲覧することができる。

【0074】また、本発明における対象製品へのユーザーによるバリアフリー度の診断・評価は、必要な物を探している人や、購入を考えている人にとっては、その製品の実際の使用情報を良く知ることができる。このことは、メーカーからの一方的な商品情報だけではなく、第三者による客観的な情報を含めて、様々な情報を知る機会が増えるため、顧客の購入動機や判断が向上していくことが期待できる。

【0075】また、前記製品情報等は、モニターやユーザー、あるいは製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、設問作成業者、その他企業、調査会社等から、インターネット等のネットワークを介してデータベースに送信登録することができ、バリアフリーに関連する製品情報がリアルタイムで提供できる。

【0076】また、中間での情報関連の再加工工程を経ずに、リアルタイムにて情報を提供できるため、顧客や情報を必要としている人々（流通、販売業者、バリアフリー関連のアドバイザー等）にも、多くの新しい製品情報を、より速く提供することができる。

【0077】また、モニターやユーザー側に対する設問の作成においては、データベースサーバ業者やサービスサイトと提携する製造者、販売者、流通関連事業者、第三者機関、設問作成業者、その他企業、調査会社等により、必要に応じて、それぞれ単独にて又は共同作業にて

インターネット等のネットワークを介して設問情報を作成し、データベースに登録することも可能となる。これは、バリアフリー度の診断・評価を受ける工程において、時間、手続の短縮になり、より速く診断・評価を受けることが可能となる。

【0078】このようなことから、メーカーや、流通、販売関連事業者側や、その他の事業者側にとっては、より良い物を開発、改善したり、より良い物を顧客に勧めることができ、また、顧客側にとっては、より良い物を選択できる状況を創り出すことができる効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の製品バリアフリー度の診断・評価方法とその情報提供システムを用いたユーザと、製造業者、流通販売業者、行政機関等と、データベース、データベースサーバとのネットワーク関係を示すシステムブロック図。

【図2】本発明方法と情報提供システムにおける運用を説明するフローチャート図。

【図3】本発明方法と情報提供システムにおけるデータベース、データベースサーバ、ネットワークとの関係を示すシステムブロック図。

【図4】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価における配慮点要素の一例を説明する要素説明図。

【図5】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報として出力表示されるチェック項目や設問のフォーマットの一例を説明する設問情報出力表示図。

【図6】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報として出力表示されるチェック項目や設問のフォーマットの一例を説明する設問情報出力表示図。

【図7】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報として出力表示されるチェック項目や設問のフォーマットの一例を説明する設問情報出力表示図。

【図8】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報として出力表示されるチェック項目や設問のフォーマットの一例を説明する設問情報出力表示図。

【図9】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価結果として出力表示される総合評価のフォーマットの一例を説明する総合評価出力表示図。

【図10】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価結果として出力表示される詳細評価のフォーマットの一例を説明する詳細評価出力表示図。

【図11】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価結果として出力表

10

20

30

40

50

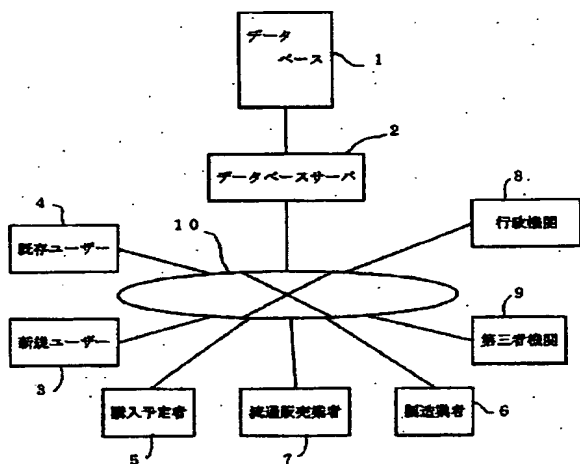
示される詳細評価のフォーマットの一例を説明する詳細評価出力表示図。

【図12】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価結果として出力表示される詳細評価のフォーマットの一例を説明する詳細評価出力表示図。

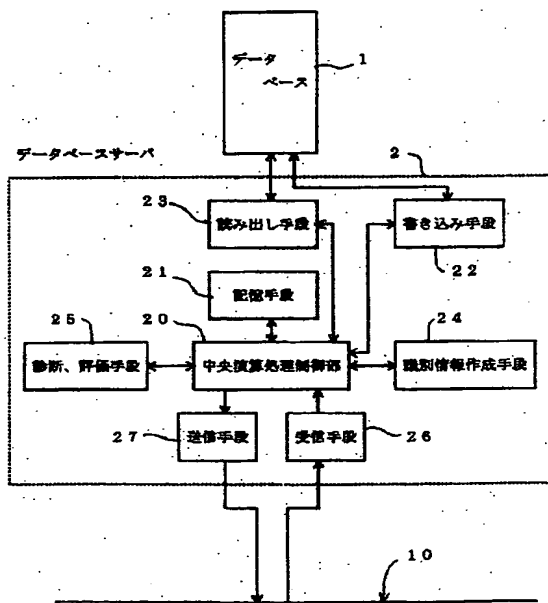
【図13】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価における配慮点要素の他の例を説明する要素説明図。

【図14】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報として出力表示されるチェック項目や設問のフォーマットその他*

【図1】



【図3】



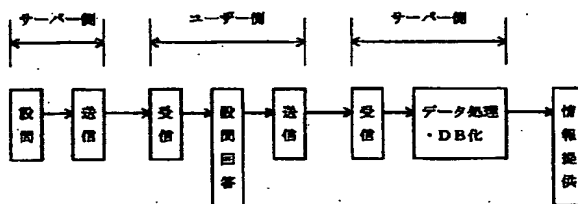
*の例を説明する設問情報出力表示図。

【図15】本発明方法と情報提供システムにおける製品（商品）バリアフリー度の診断、評価の設問情報及び推薦・推奨商品類として出力表示されるフォーマットの一例を説明する出力表示図。

【符号の説明】

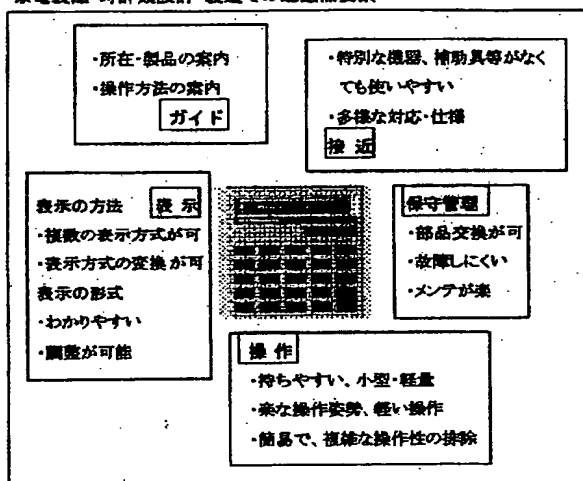
- 1…データベース 2…サーバ 3…新規ユーザー 4…既存ユーザー
- 5…購入予定者 6…製造業者 7…流通販売業者 8…行政機関
- 9…第三者機関 10…ネットワーク

【図2】



【図4】

家電製品・時計類設計・製造での配慮点要素



【図5】

実際の商品分野毎での配点と評価の例

(1)家電製品・時計類:	効果: 大	特大	中	特小	小
(イ) 操作性・操作状況等の直感性、分かりやすさ	○	○	●	○	○
(ロ) 操作スイッチ・表示装置の位置(使いやすい位置)	○	●	○	○	○
(ハ) 操作スイッチ・表示装置の表示(文字の大きさ・凸・点字等)	○	○	●	○	○
(ニ) 無理が少なく、軽くて確実なスイッチ類の操作性	○	●	○	○	○
(ホ) 軽量、適度の大きさ・コンパクト性	○	●	○	○	○
(ヘ) 故障が少ない	○	●	○	○	○
(ト) 片手で素に操作	○	○	●	○	○
(チ) デザイン性が良い	○	○	●	○	○
(リ) 品質の良さ	○	○	●	○	○
(ヌ)	○	○	○	○	○
他					

【図6】

(2)衣料品類:	効果: 大	特大	中	特小	小
(イ) 伸縮性のある素材	○	○	●	○	○
(ロ) 着やすさ、着る時に無理が少ない	○	●	○	○	○
(ハ) 脱ぎやすさ、脱ぐ時に無理が少ない	○	●	○	○	○
(ニ) ボタン&ボタン穴・ファスナーの取っ手等の大きさ、 着脱のしやすさ	○	●	○	○	○
(ホ) 素材・縫製等の品質の良さ	○	○	●	○	○
(ヘ) 軽量、量むと適度の大きさ・コンパクト性	○	○	●	○	○
(ト) デザイン性が高さ	○	○	●	○	○
(チ) 外気との温度差が調整しやすさ	○	●	○	○	○
(リ) 洗濯等の取扱表示が大きく、詳しく表示	○	○	●	○	○
(ヌ)	○	○	○	○	○
他					

【図7】

(3)パッケージ類:		効果: 大 特大 中 特小 小				
(イ)	容器として必要・充分な性能(中身保存での安全性等)	○	●	○	○	○
(ロ)	開封位置が直感的で分かりやすい表示 (切れ込み・開封部表示等)	○	●	○	○	○
(ヘ)	開封方法が直感的で分かりやすい表示 (統一的な開封マーク等表示)	○	●	○	○	○
(ニ)	製品や開封等の取扱い説明分の分かりやすい表示 (文字の大きさ・色使い等)	○	○	●	○	○
(ホ)	開封作業では無意味な力を必要とせず、開けやすい	○	○	●	○	○
(ヘ)	中身が取出しやすい	○	○	●	○	○
(ト)	商品名・内容・品質表示・取扱等の分かりやすい明記と表示	○	●	○	○	○
(チ)	容器としてのデザイン・持ちやすさ	○	○	●	○	○
(リ)	持ちやすさ	○	●	○	○	○
(ス)	○	○	○	○	○
他						

【図8】

(4)家庭調理用・日用品類:

(5)文具・事務用品類

(6)住宅・住宅設備類:

(7)情報・通信機器類:

(8)印刷物:

(9).....

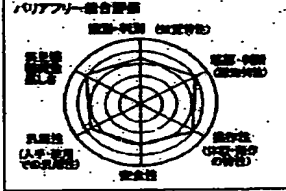
【図9】

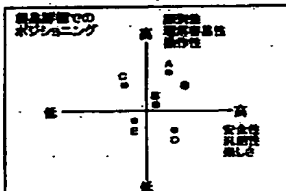
(1) 総合評価

○No.(JAN): ○○○○○○○○○○○○○○
 ○メーカー名: ○○○社(株)
 ○製品名: ○○○○
 ○製品数量:
 ○バリアフリー使用評価(得意): ○○点
 (基準○○点 / ○○点中○位 / 平均○○点
 ・最高○○点、最低○○点)
 ○バリアフリー使用評価(総評):

 ・良い点:
 ・悪い点:
 ○バリアフリーで改善・改良が必要な点:

 ○同分野での他社類似製品: A.....
 B..... C.....
 D..... E.....

・評価評価項目: 欄 ・バリアフリー基準: 欄
 バリアフリー総合評価


 同分野でのポジショニング


【図11】

(3) 詳細評価②

・No.(JAN): ○○○○○○○○○○○○○○
 ・メーカー名: ○○○社(株)
 ・製品名: ○○○○
 ・バリアフリー使用評価: ○○点(基準○○点)

1.識別・判別 ①他社製品より○○○が見やすい
 ②.....
 2.理解・判断 ①他社製品より○○○がわかりやすい
 ②.....
 3.操作性 ①他社製品より○○○がしやすい
 ②.....
 4.安全性 ①他社製品より故障がしにくい、誤差にない
 5.汎用性 ①他社製品より費用対効果が高い、やや入手にくい
 ②.....
 6.楽しさ ①他社製品より機能が少ない、デザインがやや不満足
 ②.....

【圖 12】

(4) 詳細評価③(個別詳細評価)

・NO.(JAN): ○○○○○○○○○○○○○○ ・メーカー名: 社(株)

・製品名: ○○○○ ・バリエーション使用評価: ○○点(基準○○点)

1.識別・判別 (認知性)

見やすい

見にくい

見分けやすい

見分けにくい

2.理解・判別 (認知性)

使用・操作方法の伝達率がわかりやすい

使用・操作方法の伝達率がわかりにくい

見やすい

見にくい

3.理解・判別 (認知性)

性能の伝達率のわかりやすさ

性能の伝達率のわかりにくさ

見やすい

見にくい

【圖 13】

(5) 詳細評価④(バリアフリーの配慮点)

バリアフリーの配慮点 = 〇〇〇製品分野 =

1. 識別・判別	①他社製品より〇〇〇が見やすい
	②.....
	③.....
2. 理解・判断	①他社製品より〇〇〇がわかりやすい
	②.....
	③.....
3. 操作性	①他社製品より〇〇〇がしやすい
	②.....
	③.....
4. 安全性	①他社製品より故障がしにくい、間違えにくい
	②.....
5. 汎用性	①他社製品より費用対効果が高い、やや入手しにくい
	②.....
6. 楽しさ	①他社製品より機能が少ない、デザインがやや不満足
	②.....

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☐ FADED TEXT OR DRAWING
- ☒ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.